

## お知らせ

記者発表資料	令和3年5月17日
配布日時	14:00

■同時発表先: 合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

### ～歴史と治水技術の調和～

## 旭川放水路「百間川」河川改修事業

## 令和2年度土木学会技術賞を受賞しました。

令和元年春に完成した旭川放水路「百間川」河川改修事業が、土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与した画期的なプロジェクトとして認められ、令和2年度土木学会賞（技術賞Ⅱグループ）を受賞しましたのでお知らせします。

### 1. 土木学会賞(技術賞)の概要

土木学会賞は学会創立後6年目の1920(大正9)年に「土木賞」として創設されました。以来、大戦終了後の1945年から48年までの余儀ない中断はあるものの、90余年の伝統に基づく権威ある表彰制度です。土木学会賞の技術賞には、以下の2つのグループがあります。

I グループ: 具体的なプロジェクトに関連して、土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる計画、設計、施工または維持管理等の画期的な個別技術

II グループ: 土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクト

今回、旭川放水路「百間川」河川改修事業は、技術賞Ⅱグループで受賞しました。

### 【問い合わせ先】

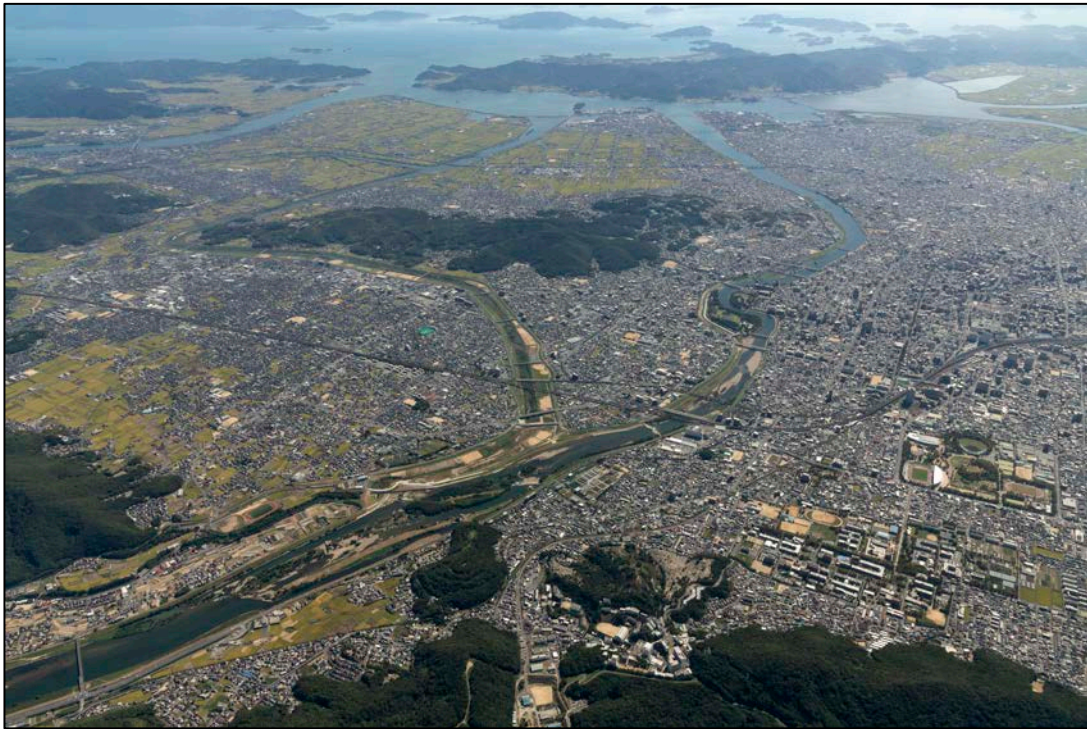
国土交通省 中国地方整備局

☎ (082) - 221 - 9231 (代表) (平日昼間)

河川部 河川計画課長      はせがわ      ふみ      あき      (内線 3611)  
長谷川      史      明

## 技術賞 II グループ

(土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクト)



(プロジェクト名) 旭川放水路(百間川)河川改修事業

国土交通省 中国地方整備局

### (選定理由)

旭川放水路「百間川」の特長は、呑口部「分流部」と出口部「河口水門」にある。

河口水門は、昭和、平成で最新技術のゲートを採用し、海拔ゼロメートル地帯を、洪水・内水被害に加え高潮・地震津波の危険から守っている。放水路の流下能力に合わせて段階的に整備された。「昭和ゲート」は昭和40年に完成し、近年も耐震補強を実施し現在も活躍している。百間川の築堤が概成した後は河道の能力に合わせて「平成ゲート」を増築した。平成ゲートは軟弱地盤対策や、ライフサイクルコストを考慮し、日本最大級のライジングセクターゲートを採用している。

一方の分流部には、江戸期より残る「一の荒手」、「二の荒手」と呼ばれる分流施設を極力保存した形で活用している。これらは文化財的な価値もあり、地域住民からも保存要望が高かった。計画どおり安全に洪水を分派させるため、撤去し可動堰化の計画もあったが、解析技術を駆使し固定堰方式での分派形状を採用した。工事にあたってはICT技術を活用し、石積み形状まで正確に再現し、歴史と最新技術の融合を図っている。

昭和40年代の当初計画から流量増の計画変更を行っているが川幅は当初計画どおりとし、軟弱沈下対策を考慮し堤防の嵩上げと河道内の掘削を段階的に実施することで、近年は大規模な浸水被害が発生していない。江戸時代から続く旭川放水路「百間川」を活用した国による新たな河川改修は、着工から半世紀以上の時をかけ令和元年春に完了した。